

【A. 選択回答のみ】

質問 1 福島第一原発周辺だけでなく、相模原市内産の一部の作物からも、放射性物質が検出されていることをご存知ですか？

回答数 41

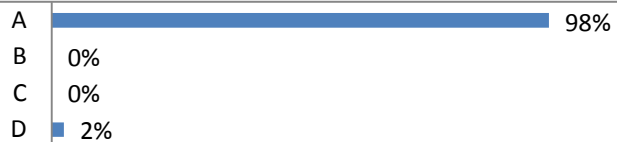
A	知っている	39	95%
B	調査中	1	2%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%



質問 2 相模原市内の公園や小中学校など子ども関連の施設の敷地内の堆積物から、放射性物質が確認されていることをご存知ですか？

回答数 41

A	知っている	40	98%
B	調査中	0	0%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%



質問 3 相模原市内の清掃工場の飛灰(ばいじん)やスラグから放射性物質が検出されているのをご存知ですか？

回答数 41

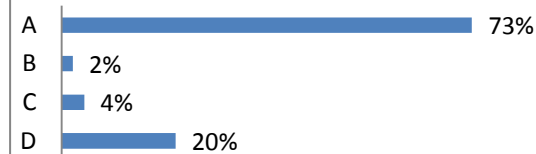
A	知っている	39	95%
B	調査中	1	2%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%



質問 4 国は、福島第一原発が冷温停止状態になったと発表しましたが、廃炉には今後30～40年かかることをご存知ですか？

回答数 49

A	知っている	36	73%
B	調査中	1	2%
C	知らない	2	4%
D	その他	10	20%



質問 5 国が、食品や水の暫定基準に代わる、平成24年4月から適用する新基準案を発表したことをご存知ですか？

回答数 41

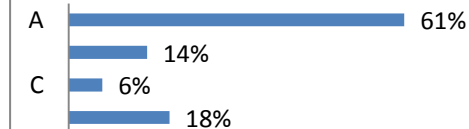
A	知っている	38	93%
B	調査中	2	5%
C	知らない	1	2%
D	その他	0	0%



質問 6 ドイツ放射線防護協会による、日本への放射能汚染の希釈停止の勧告をご存知ですか？

回答数 49

A	知っている	30	61%
B	調査中	7	14%
C	知らない	3	6%
D	その他	9	18%



質問 7 汚染された冷却水の海洋廃棄も一時取り沙汰されました。各地に散らばった放射能汚染物の処分場の確保も難航し未解決です。空へ、海へ、土へ放出される放射性物質は、肉、魚、野菜などを汚染し続けます。食事や呼吸による低線量の内部被曝は、低線量の外部被曝より、ずっと人体に悪影響を与えるということをご存知ですか？

回答数 42

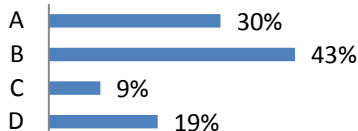
A	知っている	21	50%
B	調査中	19	45%
C	知らない	1	2%
D	その他	1	2%



質問 8 次のグラフに示すように、食品による内部被曝は一度にたくさんの汚染された食品を摂取するより、慢性的に汚染された食品を摂取するほうが、体内に残る放射性物質の量は、多くなるということをご存知ですか？

回答数 54

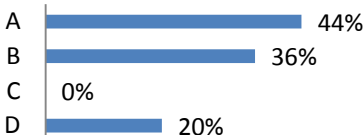
A	知っている	16	30%
B	調査中	23	43%
C	知らない	5	9%
D	その他	10	19%



質問 9 子どものほうが大人より約3倍も放射能の影響を受けやすいということをご存知ですか？

回答数 50

A	知っている	22	44%
B	調査中	18	36%
C	知らない	0	0%
D	その他	10	20%



質問 10 相模原市は、給食食材の検査に加え、2011年12月から給食一食丸ごと検査を開始。この取り組みには大変感謝していますが、この方法では、各校4~5ヶ月に1回という割合です。より細やかな測定のために、放射性物質の検出・測定機器の全小学校配備を陳情しています。

回答数 41

A	この配備(陳情)に賛成	1	2%
B	毎日の検査は不要	4	10%
C	よりよい方法を考えている	31	76%
D	その他	4	10%
	無回答	1	2%



質問 11 環境省により、日光が「汚染状況重点調査地域」に指定されたことをご存知ですか？

回答数 41

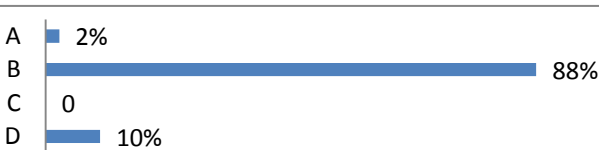
A	知っている	36	88%
B	調査中	4	10%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%



質問 12 小学校の修学旅行について、(文科省の航空機モニタリング調査からも)放射性物質が大量に堆積したとされる日光行きは、少なくともセシウム134の半減期を迎える平成25年度までは控えてほしいと考えています。なお、子どもの修学旅行を控えることで現地の観光産業の衰退が懸念されるため、大人の旅行先として企画を設けるなどの対策も必要と考えています。

回答数 41

A	小学生の日光修学旅行は、平成25年度まで行く先変更すべき	1	2%
B	期限を決めず、単年度ごとに安全性を精査し、行く先を慎重に検討すべき	36	88%
C	相模原市より空間線量が高くても、日光には小学6年生の修学旅行で必ず行くべき	0	0%
D	その他	4	10%



質問 13 東北からの瓦礫処理について、神奈川県知事は、政令指定都市3市に受け入れを要請しています。受け入れ段階でのkgあたりの放射性物質の濃度は低くても、焼却することで濃度は高くなります。市内のごみ処理だけでも飛灰(ばいじん)やスラグから放射性物質が検出されています。さらなる放射性物質の拡散に反対です。放射性物質は、専用の施設に封じ込めることが必要と考えます。

回答数 41

A	瓦礫を日本各地に移動処理することに反対	2	5%
B	相模原市の瓦礫処理受け入れには反対	0	0%
C	放射性物質による汚染が悪化するとしても、相模原市でも瓦礫処理をするべき	1	2%
D	その他	38	93%



質問 14 市民による放射能計測では、民地の雨水浸透マスや、雨樋下で、0.3~0.4マイクロシーベルト/h以上の放射線量が計測されており、市内にはこういった場所が無数にあります。しかし、民地において高い線量が計測されても、市は市管轄の土地以外は関与しないため、市民自ら放射能を含んだ土を除去し、管理しなければなりません。

回答数 41

A	民地に関しても、市として除染するようにすべき	1	2%
B	市民が自らの責任で除染し、廃棄物については処理方法を定める	3	7%
C	民地まで行政は手が回らないので、このまま、市民が除染し、管理するしかない	0	0%
D	その他	37	90%



質問 15 2012年度、全国の小・中・高等学校に配布される、文科省発行の副読本『知ることからはじめよう放射線のいろいろ』をご存知ですか。

回答数 42

A	知っている	39	93%
B	調査中	2	5%
C	知らない	1	2%
D	その他	0	0%



質問 16 この『知ることからはじめよう放射線のいろいろ』は、放射線に対して感受性の高い子どもたちが、自らの健康を守るための注意事項(内部被曝への備えなど)についての記述が欠落しています。これを改訂することなく、あるいは子どもたちの健康のための適切な解説を加えることなく児童生徒に配布しないでほしいと考えます。

回答数 45

A	内容が不十分なので、副読本は配布すべきでない	5	11%
B	子どもたちの健康のために、相模原市独自の子ども向け冊子を作成配布すべき	4	9%
C	子どもたちには放射能汚染については知らせるべきではない	0	0%
D	その他	36	80%



質問 17 相模原市の子どもたちを放射能から守るために考えていらっしゃるがありましたら、お書きください。

【B. 議員別回答、記述式回答一覧】

質問 1	福島第一原発周辺だけでなく、相模原市内産の一部の作物からも、放射性物質が検出されていることをご存知ですか？
---------	---

回答数 41

A	知っている	39	95%
B	調査中	1	2%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%

回答

A	新政クラブ [17名]	
A	民主新無所属(臼井)	
A	民主新無所属(小田)	
A	民主新無所属(鈴木)	
A	民主新無所属(野元)	
A	公明党 [8名]	
A	共産党(大田)	
A	共産党(竹腰)	
A	共産党(藤井)	
A	共産党(松永)	
A	市民連合 [3名]	
A	みんなの党(市川)	
A	(匿名)	
A	(匿名)	
B	民主新無所属(大沢)	
D	民主新無所属(森)	微量の検出は知っています。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

質問 2	相模原市内の公園や小中学校など子ども関連の施設の敷地内の堆積物から、放射性物質が確認されていることをご存知ですか？
---------	---

回答数 41

A	知っている	40	98%
B	調査中	0	0%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%

回答

A	新政クラブ [17名]	
A	民主新無所属(臼井)	
A	民主新無所属(大沢)	
A	民主新無所属(小田)	
A	民主新無所属(鈴木)	
A	民主新無所属(野元)	
A	公明党 [8名]	
A	共産党(大田)	
A	共産党(竹腰)	
A	共産党(藤井)	
A	共産党(松永)	
A	市民連合 [3名]	
A	みんなの党(市川)	
A	(匿名)	
A	(匿名)	
D	民主新無所属(森)	確認され、対策が講じられていることを知っています。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 3</b>	相模原市内の清掃工場の飛灰(ばいじん)やスラグから放射性物質が検出されているのをご存知ですか？
-----------------	---

回答数 41

<b>A</b>	知っている	39	95%
<b>B</b>	調査中	1	2%
<b>C</b>	知らない	0	0%
<b>D</b>	その他	1	2%

回答

<b>A</b>	新政クラブ [17名]	
<b>A</b>	民主新無所属(臼井)	
<b>A</b>	民主新無所属(大沢)	
<b>A</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>A</b>	民主新無所属(野元)	
<b>A</b>	公明党 [8名]	
<b>A</b>	共産党(大田)	
<b>A</b>	共産党(竹腰)	
<b>A</b>	共産党(藤井)	
<b>A</b>	共産党(松永)	
<b>A</b>	市民連合 [3名]	知っているが基準値以内と承知している。
<b>A</b>	みんなの党(市川)	ヨウ素は不検出、セシウムが検出されましたが、減少しているようです。そのためスラグの再利用は見合わせています。
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>B</b>	民主新無所属(小田)	
<b>D</b>	民主新無所属(森)	微量の検出は知っています。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

質問 4	国は、福島第一原発が冷温停止状態になったと発表しましたが、廃炉には今後30～40年かかることをご存知ですか？		
---------	--	--	--

回答数 49

A	知っている	36	73%
B	調査中	1	2%
C	知らない	2	4%
D	その他	10	20%

回答

A	新政クラブ [17名]	
A	民主新無所属(大沢)	
A	民主新無所属(小田)	
A	共産党(大田)	
A	共産党(竹腰)	
A	共産党(藤井)	
A	共産党(松永)	
A	市民連合 [3名]	
A	みんなの党(市川)	
A	(匿名)	
A,D	公明党 [8名]	30～40年とは限らないとも考えます
B	民主新無所属(鈴木)	
C	民主新無所属(臼井)	
C	(匿名)	
D	民主新無所属(野元)	原子力委員会の専門部会の報告書の内容として30年以上かかるというのは知っています。
D	民主新無所属(森)	長い期間が必要がと言うことは承知していますが、30～40年というのは、貴団体が決めた数字でしょうか？

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 5</b>	<b>国が、食品や水の暫定基準に代わる、平成24年4月から適用する新基準案を発表したことをご存知ですか？</b>
-----------------	--

回答数 41

<b>A</b>	知っている	38	93%
<b>B</b>	調査中	2	5%
<b>C</b>	知らない	1	2%
<b>D</b>	その他	0	0%

回答

<b>A</b>	新政クラブ [17名]	「食品中の放射性物質の規格基準の設定について」と承知している。
<b>A</b>	民主新無所属(大沢)	
<b>A</b>	民主新無所属(小田)	
<b>A</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>A</b>	民主新無所属(野元)	
<b>A</b>	公明党 [8名]	
<b>A</b>	共産党(大田)	
<b>A</b>	共産党(竹腰)	
<b>A</b>	共産党(藤井)	
<b>A</b>	共産党(松永)	
<b>A</b>	市民連合 [3名]	
<b>A</b>	みんなの党(市川)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>B</b>	民主新無所属(森)	
<b>B</b>	(匿名)	
<b>C</b>	民主新無所属(臼井)	

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。



<b>質問 6</b>	<b>ドイツ放射線防護協会による、日本への放射能汚染の希釈停止の勧告をご存知ですか？</b>
-----------------	--

回答数 49

<b>A</b>	知っている	30	61%
<b>B</b>	調査中	7	14%
<b>C</b>	知らない	3	6%
<b>D</b>	その他	9	18%

回答

<b>A</b>	新政クラブ [17名]	「Gesellschaft für Strahlenschutz e.V.会長セバスティアン・プフルークバイル(博士)ベルリン、2011年11月27日」と承知している。
<b>A</b>	民主新無所属(野元)	
<b>A</b>	共産党(大田)	
<b>A</b>	共産党(竹腰)	
<b>A</b>	共産党(藤井)	
<b>A</b>	共産党(松永)	
<b>A,D</b>	公明党 [8名]	詳細は調査中
<b>B</b>	民主新無所属(小田)	
<b>B</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>B</b>	市民連合 [3名]	
<b>B</b>	(匿名)	
<b>B</b>	(匿名)	
<b>C</b>	民主新無所属(臼井)	
<b>C</b>	民主新無所属(大沢)	
<b>C</b>	みんなの党(市川)	
<b>D</b>	民主新無所属(森)	ドイツ放射線防護協会の勧告に関する影響力は知りません。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 7</b>	汚染された冷却水の海洋廃棄も一時取り沙汰されました。各地に散らばった放射能汚染物の処分場の確保も難航し未解決です。空へ、海へ、土へ放出される放射性物質は、肉、魚、野菜などを汚染し続けます。食事や呼吸による低線量の内部被曝は、低線量の外部被曝より、ずっと人体に悪影響を与えるということをご存知ですか？
-----------------	---

回答数 42

<b>A</b>	知っている	21	50%
<b>B</b>	調査中	19	45%
<b>C</b>	知らない	1	2%
<b>D</b>	その他	1	2%

回答

<b>A</b>	民主新無所属(小田)	
<b>A</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>A</b>	公明党 [8名]	
<b>A</b>	共産党(大田)	
<b>A</b>	共産党(竹腰)	
<b>A</b>	共産党(藤井)	
<b>A</b>	共産党(松永)	
<b>A</b>	市民連合 [3名]	
<b>A</b>	みんなの党(市川)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A,B</b>	民主新無所属(大沢)	
<b>B</b>	新政クラブ [17名]	同様の趣旨で埼玉県等へ昨年12月に要望書が提出されていることは承知しているが、科学的な根拠や見解、正確な出典等については現在調査中。
<b>B</b>	民主新無所属(森)	
<b>C</b>	民主新無所属(臼井)	
<b>D</b>	民主新無所属(野元)	内部被ばくの影響は十分留意すべきと承知はしていますが、このような比較が適切とは思いません。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

**質問 8** 次のグラフに示すように、食品による内部被曝は一度にたくさんの汚染された食品を摂取するより、慢性的に汚染された食品を摂取するほうが、体内に残る放射性物質の量は、多くなるということをご存知ですか？

回答数 54

A	知っている	16	30%
B	調査中	23	43%
C	知らない	5	9%
D	その他	10	19%

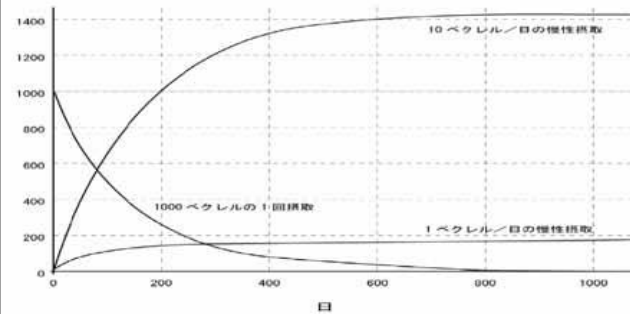


図 2.2. 1000 ベクレルのセシウム 137 を一度に摂取した場合、および 1 ベクレル および 10 ベクレルのセシウム 137 をそれぞれ 1000 日間毎日摂取した場合の全身放射能 (ベクレル) の推移 (1000 日間)

回答

A	民主新無所属(小田)	
A	共産党(大田)	
A	共産党(竹腰)	
A	共産党(松永)	
A	(匿名)	
A	(匿名)	
A,B	民主新無所属(大沢)	
A,D	公明党 [8名]	詳細は調査中
A,D	共産党(藤井)	放射能については、このことも含めて理解が未だ不十分ですので、学習の必要性を感じております。
B	新政クラブ [17名]	出典資料は確認しているが、科学的な根拠や見解等については現在調査中。
B	民主新無所属(鈴木)	
B	民主新無所属(森)	
B,C	市民連合 [3名]	具体的な課題として(健康上)どうなのか確認したい。
C	民主新無所属(臼井)	
C	みんなの党(市川)	
D	民主新無所属(野元)	この設問は適切な問いとは思えません。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 9</b>	<b>子どものほうが大人より約3倍も放射能の影響を受けやすいということをご存知ですか？</b>
-----------------	---

回答数 50

<b>A</b>	知っている	22	44%
<b>B</b>	調査中	18	36%
<b>C</b>	知らない	0	0%
<b>D</b>	その他	10	20%

回答

<b>A</b>	民主新無所属(臼井)	
<b>A</b>	民主新無所属(小田)	
<b>A</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>A</b>	民主新無所属(森)	
<b>A</b>	共産党(大田)	3倍以上という報告もある
<b>A</b>	共産党(竹腰)	
<b>A</b>	共産党(藤井)	
<b>A</b>	共産党(松永)	
<b>A</b>	市民連合 [3名]	但し、影響が大きいことは知っているが3倍という確定数の精度については未確認です。
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A,B</b>	民主新無所属(大沢)	
<b>A,D</b>	公明党 [8名]	約3倍とは限りません
<b>B</b>	新政クラブ [17名]	数値等に対する科学的な根拠や見解、正確な出典等については現在調査中。
<b>D</b>	民主新無所属(野元)	子どもの方が影響を受けやすいことは承知しています。
<b>D</b>	みんなの党(市川)	子どもの方が受けやすい事は承知していますが、3倍とは知りませんでした。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 10</b>	相模原市は、給食食材の検査に加え、2011年12月から給食一食丸ごと検査を開始。この取り組みには大変感謝していますが、この方法では、各校4～5ヶ月に1回という割合です。より細やかな測定のために、放射性物質の検出・測定機器の全小学校配備を陳情しています。
------------------	--

回答数 41

<b>A</b>	この配備(陳情)に賛成	1	2%
<b>B</b>	毎日の検査は不要	4	10%
<b>C</b>	よりよい方法を考えている	31	76%
<b>D</b>	その他	4	10%
	無回答	1	2%

回答

<b>A</b>	(匿名)	子どもを守るのに、いくら予算をかけても良いがハッキリとした根拠が必要。
<b>B</b>	民主新無所属(臼井)	
<b>B</b>	市民連合 [3名]	(不可能ではないか)他都市のデータ、他の食品関係団体のデータの入手、検討を十分に行なう。
<b>C</b>	新政クラブ [17名]	限られた予算の中で、子どもたちの安全を守るために最も効果的で、持続可能な方法の検討を行っている。
<b>C</b>	民主新無所属(鈴木)	市の予算を考慮すると全校毎日では厳しいと思います。横浜市の対応を見習えばいいと思います。
<b>C</b>	公明党 [8名]	費用対効果と毎日検査の場合の体制、対応、運用の検討を要する
<b>C</b>	共産党(大田)	代表質問でも行いましたが、グループ分けして行うなど、毎日検査できる体制を整備することが必要であると考えます。
<b>C</b>	共産党(竹腰)	小学校をグループに分けて、グループごとに毎日検査できるような体制をつくること
<b>C</b>	共産党(藤井)	小学校をグループ分けして、グループごとに毎日検査できる体制を整備する。
<b>C</b>	共産党(松永)	小学校をグループ分けしてグループごとに毎日検査できる体制を整備する
<b>C</b>	みんなの党(市川)	給食に使われている食材を仕入れている市場の定期的な調査
<b>D</b>	民主新無所属(大沢)	より細やかな測定は重要だが実際行うとなれば、食材は当日納品であり、一日使う食材をすべて検査をする時間の問題もあり、研究、検討が必要。
<b>D</b>	民主新無所属(小田)	全小学校配備は不要。台数を増やすことにはある程度の理解。
<b>D</b>	民主新無所属(野元)	給食に限らず食の安全性(流通のしくみ)を確保することが大切と考えます。全小学校、毎食の測定は予算面、測定体制、公表など課題が多く効果的とは思いません。
<b>D</b>	民主新無所属(森)	相模原市は他の自治体より、取り組みが進んでいる。今後、食の安全については、国全体の動向を注視する中で、自治体に必要な施策については、議会で議論していくべきと感じる。
	無回答 (匿名)	

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

質問 11	環境省により、日光が「汚染状況重点調査地域」に指定されたことをご存知ですか？
----------	--

回答数 41

A	知っている	36	88%
B	調査中	4	10%
C	知らない	0	0%
D	その他	1	2%

## 回答

A	新政クラブ [17名]	
A	民主新無所属(臼井)	
A	民主新無所属(大沢)	
A	民主新無所属(小田)	
A	民主新無所属(野元)	
A	公明党 [8名]	
A	共産党(大田)	
A	共産党(竹腰)	
A	共産党(藤井)	
A	共産党(松永)	
A	市民連合 [3名]	
B	民主新無所属(鈴木)	
B	みんなの党(市川)	
B	(匿名)	
B	(匿名)	
D	民主新無所属(森)	あくまでも重点調査地域である。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

質問 12	小学校の修学旅行について、(文科省の航空機モニタリング調査からも)放射性物質が大量に堆積したとされる日光行きは、少なくともセシウム134の半減期を迎える平成25年度までは控えてほしいと考えています。なお、子どもの修学旅行を控えることで現地の観光産業の衰退が懸念されるため、大人の旅行先として企画を設けるなどの対策も必要と考えています。
----------	---

回答数 41

A	小学生の日光修学旅行は、平成25年度まで行く先変更すべき	1	2%
B	期限を決めず、単年度ごとに安全性を精査し、行く先を慎重に検討すべき	36	88%
C	相模原市より空間線量が高くても、日光には小学6年生の修学旅行で必ず行くべき	0	0%
D	その他	4	10%

## 回答

A	民主新無所属(臼井)	
B	新政クラブ [17名]	日光市の調査で、放射能検査結果もすべて暫定規制値以下となり、市が「日光市観光安全宣言」を行ったことは承知しているが、安全性の精査は必要。また、他の多くの都市も「汚染状況重点調査地域」に指定されており、日光に限らず、安全性の確保を行う必要がある。 ※1/25に、6名(校長3名、職員3名)による調査が行われたと聞いている。実際の測定、食材のルートヒアリング、現地の状況調査等を実施し、今後の判断における情報提供を行う予定と聞いているが、会派としては詳細をこれから確認予定である。
B	民主新無所属(大沢)	
B	民主新無所属(小田)	必ず日光である必要はありませんね!
B	民主新無所属(鈴木)	
B	公明党 [8名]	
B	共産党(大田)	
B	共産党(竹腰)	
B	共産党(藤井)	
B	共産党(松永)	
B	市民連合 [3名]	
B	(匿名)	
D	民主新無所属(野元)	日光に限らず、修学旅行先について、保護者と学校側で十分議論し、決定していくことが大切だと考えます。
D	民主新無所属(森)	行き先は、学校判断であるが、教育委員会が積極的に調査・助言をすべき。
D	みんなの党(市川)	PTAを中心とする保護者と学校で協議し、決定すべきである。保護者の過半数が日光行きに反対した時は、行く先を変更すべきである。
D	(匿名)	調査結果に、準ずるべき。

質問 13	東北からの瓦礫処理について、神奈川県知事は、政令指定都市3市に受け入れを要請しています。受け入れ段階でのkgあたりの放射性物質の濃度は低くても、焼却することで濃度は高くなります。市内のごみ処理だけでも飛灰(ばいじん)やスラグから放射性物質が検出されています。さらなる放射性物質の拡散に反対です。放射性物質は、専用の施設に封じ込めることが必要と考えます。
----------	--

回答数 41

A	瓦礫を日本各地に移動処理することに反対	2	5%
B	相模原市の瓦礫処理受け入れには反対	0	0%
C	放射性物質による汚染が悪化するとしても、相模原市でも瓦礫処理をするべき	1	2%
D	その他	38	93%

回答

A	(匿名)	
A	(匿名)	
C	民主新無所属(臼井)	
D	新政クラブ [17名]	安全の確認は第一である。安全を確保し、市民の納得を得ながら出来る限りの被災地支援を行うべきである。
D	民主新無所属(大沢)	被災地の現状を考えると瓦礫は原則受け入れるべきと考えるが、ただし放射性物質の濃度の安全性の確認や焼却したあとの灰の処理については国が考えることも必要であると思う。
D	民主新無所属(小田)	何よりも焼却による検出がどれほどのものかの公表、数値の予測等、より踏み込んだデータが必要。まだ判断できないが、個人の心情としては受け入れても仕方ないか。
D	民主新無所属(鈴木)	放射性物質の安全性を確認しながら相模原市でも瓦礫処理をするべき。
D	民主新無所属(野元)	(「神奈川県知事は政令指定都市3市に行け入れを要請しています」というのは誤り)条件を整えば受け入れるべきと考えます。「新たな拡散をさせない」「安全性の担保」を住民合意のもと、どう条件としてつくるかが大切。
D	民主新無所属(森)	(「専用の施設に封じ込めること」⇒どこに、どう作って、どう運んでどう封じ込めるの?)放射性物質の安全性を確認しながら、積極的に相模原市で、瓦礫の処理をするべきと考えます。
D	公明党 [8名]	放射性物質の線量管理を厳格にして、検討するべきである
D	共産党(大田)	安全性を一番に考え、現地(運び出し前)や相模原市において密な測定を行い、数値を細かく公表し、住民の合意を得た上で実施。
D	共産党(竹腰)	安全性確保に全力を上げて、厳密な測定と結果の(数値)公表、住民合意の上で実施をする。
D	共産党(藤井)	安全性確保に全力をあげ、厳密な測定と結果の数値の公表、住民合意のうえ、実施する
D	共産党(松永)	安全性確保に全力を上げ、厳密な測定と結果の数値の公表。住民の合意の上実施する
D	市民連合 [3名]	市が条件をつけているが、その条件が満たされれば相模原市での受け入れもやむをえない。
D	みんなの党(市川)	瓦礫処理の受け入れに賛成ですが、常に濃度は検査し、すぐに停止できる状況を整える必要がある。また、神奈川県が最終処分場を確保する事が大前提である。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。



質問 14	市民による放射能計測では、民地の雨水浸透マスや、雨樋下で、0.3～0.4マイクロシーベルト／h以上の放射線量が計測されており、市内にはこういった場所が無数にあります。しかし、民地において高い線量が計測されても、市は市管轄の土地以外は関与しないため、市民自ら放射能を含んだ土を除去し、管理しなければなりません。
----------	--

選択肢

回答数 41

A	民地に関しても、市として除染するようにすべき	1	2%
B	市民が自らの責任で除染し、廃棄物については処理方法を定める	3	7%
C	民地まで行政は手が回らないので、このまま、市民が除染し、管理するしかない	0	0%
D	その他	37	90%

A	民主新無所属(大沢)	
B	民主新無所属(臼井)	
B	民主新無所属(鈴木)	
B	みんなの党(市川)	現段階では、処理場の確保が難しい状況であるが、市民の皆さんと協働でやらなくてはならない問題だと思います。全て市でやる事になると、財政的にも厳しいと思います。
D	新政クラブ [17名]	危険性を的確に判断し、市民の手で除去可能なものなのか、公での対応が必要なものなのか、安全・安心を第一とする明確なルールと実効性の確保が必要と考える。
D	民主新無所属(小田)	行政も除染を進めていくべきであるが、企業等民間も協力すべき。個人レベルでの協力も仰ぐべき。
D	民主新無所属(野元)	市で除去したものも移動できずにいます。除染について市民の協力をあおぎつつ、処分方法については国・県も含めて対応を決めていく必要があると考えます。
D	民主新無所属(森)	国の動向と、正しい除染方法をさらに検討すべき。
D	公明党 [8名]	規模が大きくなれば、行政または東電等の関与により、除染する必要についても検討すべきである。
D	共産党(大田)	除去したものをどこに保管するのか議論が必要だが、住民合意のうえで保管場所が確保できるのであれば、市として除去していくべき。(本来は国)市民の協力を得られるのであれば、除染に対する説明、費用の負担がないようにし、かかった費用は東電に賠償させる。
D	共産党(竹腰)	原則として市が除染をする。民間の協力を得られる場合は除染のやり方の指導と費用負担の全額補助を市が行う。最終的には東京電力に賠償させること。
D	共産党(藤井)	市として除染することを原則とし、民間の協力を得られる場合は除染についての指導と費用負担への全額補助をおこない、最終的には東電に賠償させる。
D	共産党(松永)	市として除染することを原則とし、民間の協力を得られる場合は除染に対する指導と費用負担の全額補助、最終的には東電に賠償させる
D	市民連合 [3名]	東電と国が責任をもって対応すべきと思う。
D	(匿名)	民地まで行政の手が回らないので、このまま市民が除染し、廃棄物については処理方法を定める。
D	(匿名)	調査中

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 15</b>	2012年度、全国の小・中・高等学校に配布される、文科省発行の副読本『知ることからはじめよう放射線のいろいろ』をご存知ですか。
------------------	---

回答数 42

<b>A</b>	知っている	39	93%
<b>B</b>	調査中	2	5%
<b>C</b>	知らない	1	2%
<b>D</b>	その他	0	0%

回答

<b>A</b>	新政クラブ [17名]	既に内容を確認している。
<b>A</b>	民主新無所属(小田)	
<b>A</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>A</b>	民主新無所属(野元)	
<b>A</b>	公明党 [8名]	
<b>A</b>	共産党(大田)	
<b>A</b>	共産党(竹腰)	
<b>A</b>	共産党(藤井)	
<b>A</b>	共産党(松永)	
<b>A</b>	市民連合 [3名]	
<b>A</b>	みんなの党(市川)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A</b>	(匿名)	
<b>A,B</b>	民主新無所属(大沢)	
<b>B</b>	民主新無所属(森)	
<b>C</b>	民主新無所属(臼井)	

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。

<b>質問 16</b>	この『知ることからはじめよう放射線のいろいろ』は、放射線に対して感受性の高い子どもたちが、自らの健康を守るための注意事項(内部被曝への備えなど)についての記述が欠落しています。これを改訂することなく、あるいは子どもたちの健康のための適切な解説を加えることなく児童生徒に配布しないでほしいと考えます。
------------------	---

回答数 45

<b>A</b>	内容が不十分なので、副読本は配布すべきでない	5	11%
<b>B</b>	子どもたちの健康のために、相模原市独自の子ども向け冊子を作成配布すべき	4	9%
<b>C</b>	子どもたちには放射能汚染については知らせるべきではない	0	0%
<b>D</b>	その他	36	80%

## 回答

<b>A</b>	民主新無所属(小田)	
<b>A,D</b>	共産党(大田)	放射線は安全であるとミスリードをさそう部分もある。キケン性もあわせて、こういう声もある、議論が日本各地で行われるようになった等も併記すべき。また自然エネルギーについての教育も行うべき。
<b>A,D</b>	共産党(竹腰)	
<b>A,D</b>	共産党(藤井)	国にたいして、内容を改めるよう求めていきたい。全体の構成が、放射能との共存を強調するようなものになっている印象があるので、これを改め、今回の福島原発事故もたらしめている深刻な事態とそのなかで放射能への感受性が高い子どもたちをまもるための必要な対応についてしっかり記述することが必要である。そして、現在の原発技術は、本質的に未完成で危険なものであり、莫大な放射能を閉じ込めておく保証がないどころか、その構造において本質的な不安定性をかかえ、放射性廃棄物の処理方法にいたってはまったく見通しがいい——こうした技術を使い続けていいのか。エネルギー政策としてこのことが問われていることを何らかのかたちで伝えることが必要である。中学生むけの冊子13頁の、たとえば「放射線は、体を通り抜けるため、体にとどまることはなく・・・」という部分は、その過程でDNAを傷つけ、様々な影響が及ぼされることの記述がないなど、著しく不十分、不適切な記述がある。このまま子どもたちに配布することは問題である。
<b>A,D</b>	共産党(松永)	内部被曝についてもきちんと記述、訂正したものにすべき
<b>B</b>	民主新無所属(臼井)	
<b>B</b>	民主新無所属(鈴木)	
<b>B</b>	民主新無所属(森)	
<b>B</b>	(匿名)	
<b>D</b>	新政クラブ [17名]	どのように子どもたちに放射線の話をするかが大切であると考えているので、この副読本をどのように使用するのかも含め、適切な対応等について現在検討中である。
<b>D</b>	民主新無所属(大沢)	内容については調査中
<b>D</b>	民主新無所属(野元)	冊子の作成にこだわらず、健康を守るための知識は教えていくべきです。
<b>D</b>	公明党 [8名]	この副読本に限らず、十分な内容の副読本を準備するべきと考える。
<b>D</b>	市民連合 [3名]	必要補助資料の作成等を検討すべきであり、授業等で扱う場合は、別途、教師が個別具体に対応する必要があると思う。
<b>D</b>	みんなの党(市川)	配布すべきだが、国には訂正の申し入れをすべきである。
<b>D</b>	(匿名)	適切な解説を加え、配布すべき。

※新政クラブ、公明党、市民連合は会派として各一通ずつの回答をいただきました。



<b>質問 17</b>	<b>相模原市の子どもたちを放射能から守るために考えていらっしゃるがありましたら、お書きください。</b>
------------------	---

17-1

41名中39名記入

<b>新政クラブ [17名]</b>	この点に関しては、「〇〇を行うべき」等の回答に終始せず、個々の議員がそれぞれの議会活動や地域活動を通じて取り組んでいる状況です。子どもたちを守ろうという考えや姿勢においては、皆共通しています。個別の取組等を当アンケートに列挙する形での回答は誤解を生むと考えましたので、場合によっては当会派議員との意見交換等お願いしたいと思います(阿部)。ご理解よろしくお願ひします。
<b>民主新無所属 (臼井)</b>	子どもたちの健康を守るということは大人の使命であると考えます。しかし、行政がしうる施策は限界もある。情報を精査し、可能などころから一步一步勧めて行くべきと考えます。
<b>民主新無所属 (大沢)</b>	将来を担う子どもたちを守っていくことは大人の役目であり、その為に来る限りの対策は行っていくべきと思う。また、放射能は目に見えないものだからこそ、情報が必要であり重要となってくる。例えばアンケートの中に「汚染状況重点調査地域」の指定と修学旅行の項目があったが、環境省に問い合わせると日光市内でも除染が必要などころ、そうでないところがあり、各自治体にまかされているとのことであった。このようにまずは国や日光市からの詳細な情報が必要であり、さらに本市独自の基準や調査というようにすべての情報を入手したうえで修学旅行の日光行きを検当していくことが大切であると思う。また現在週2回行われている食材検査(月保育園、木 学校)の回数を増やすことなど、可能性の高いものを検討することは必要と思う。
<b>民主新無所属 (小田)</b>	私もこれからパパになりたいと思う人間です。不安もたくさんあるし、勉強不足な面も多々あると思います。しかし、冷静に対応することが必要だと感じています。黒岩知事の震災がれきの受入れに係る県民対話集会で市の市民のヤジや暴力的な姿勢には不快感を抱きます。議論すべきところはしっかりと大人な対応をしていかないと大きな流れを作っていけないのではないのでしょうか。感情的にならず、まずは正しい知識を身につけ、大人な態度で大人が子供を守っていけるように、私も努力してまいります。
<b>民主新無所属 (鈴木)</b>	国の取り組みより、さらに一歩前に出た積極的な取り組みが必要です。もちろん、被災地の皆さんが風評被害で苦しむことのないようにすることが前提になりますが、例えば食材の産地消化のさらなる推進や、場合によっては、食材購入の際に産地指定を検討するなどが考えられます。子どもたちの未来のために、食材購入のあり方等について、具体的検討が進むよう努力したい。
<b>民主新無所属 (野元)</b>	子どもたちを被曝から守る手立てをできうるかぎり行っていくことは大変重要です。しかしながら、無尽蔵に財源と人出があるわけではありません。除染など、ひととおりの対策が実践され、また、放射能汚染に対する考え方や理解が、さまざまである中で、今後あらたに全市的に行う対応は、慎重にならざるをえません。どんな施策が効果的か、これからも常に考えていきたいと思っています。市民の不安をとりぞき、要望にこたえるため、市民のもちこみの食品や土壌、水などの検体を調べられる体制は、ととのえるべきと考えています。各区に1台の検査機の設置が妥当と提案しているところですが、また、除染した土や落ち葉などの保かんについて、市として国の方に働きかけ、早急な対応を求めていきたいと思っています。子どもへ正しい知識を伝えていくことも重要と考えます。その点も働きかけていきたいと思っています。
<b>民主新無所属 (森)</b>	冒頭に「このアンケートは、放射能に対する私たちの姿勢をみなさんにお伝えしたいと考え、作成しました」とメッセージが添えられていました。自分たちの考えを知っていただくこと、共感していただくことを、アンケートにする、ということについては、違和感を感じます。また、貴団体には、前議員が係わるなど、政治的背景も見えかくれする部分もあり、中立的な立場からのアンケートとは思えません。子どもたちを守る活動は否定しませんが、私も福島に何度も足を運び、支援活動してきた1人として、今後とも活動していきます。
<b>公明党 [8名]</b>	公明党市議団は、市民を放射能から守るため、放射線量の測定及び情報公開を要望し、さらに線量計の無料貸し出しを強く要望し、2月から貸し出しが開始されることになりました。この制度を利用し、子どもたちを放射能から守ることも必要である。
<b>共産党 (大田)</b>	外部被ばくでは、市民が行った測定結果の地図化。これからの続いていく内部被ばくについては、市営民営を問わず幼稚園も含めた食材検査。被ばくを減らす、お母さんのための料理教室を開くなど、極力被ばくを減らす対策をとっていきます。

質問 17	相模原市の子どもたちを放射能から守るために考えていらっしゃるがありましたら、お書きください。
17-2	41名中39名記入
共産党 (竹腰)	市が今実施している空間放射線量や保育所や学校給食の食材の「一食丸ごと」測定を継続することを基本として、学習(講演会)などを実施し充実させていくこと。根本的には、原発から自然エネルギー、再生可能なエネルギーへと切りかえていくことが大切と考えます。
共産党 (藤井)	学校、幼稚園、保育園、公園、産院、通学路など子ども関連施設や家庭菜園などの調査、除染について、市としてのとりくみや市民の自主的な活動への支援を、さらに充実強化するよう求めています。学校や保育園等の給食について、給食現場での測定検査の充実とあわせて、農畜産物等の市場流通段階や生産者からの出荷段階での測定検査の充実強化を求めています。手洗い、うがいを励行する取り組みを求めています。原発ゼロをめざす運動に引き続きとりくんでいきたい。
共産党 (松永)	全ての子どもたち、という点からは、市内流通する農産物をできるだけ多く測定対応できるよう、市場等での測定の充実を市として支援すること。スーパーや生協など、それぞれ測定し、公表していると思うが可能な限り、“統一”的な表示方法について提案し、実施できるようにすること。市が現行行っている対象から外れている認可外保育園や幼稚園などについても、調査し測定して支援する。家庭菜園の農産物の測定要望に応えられるようにする。子育て中の不安心(放射能汚染)に応える相談窓口の充実や調理方法など具体的な対応への要望に応える講習などを身近な場できめ細かく行う。
みんなの党 (市川)	給食については仕入れ業者が特定できるので、定期的な検査を、推進すべきだと考えています。その結果により、判断をしたいと思いますが、水筒・お弁当の持ち込みが可能になったので、不安であれば、ご家庭の判断で持ち込みをして頂きたい。この件は市のみでは対応しきれない問題であり、市民の皆さんと協働して乗り越えなければならぬと思いますので、良いお考えがあれば教えてください。この件に関しまして、市の対応は評価できるものと思っていますが、市民の皆様と、力を合わせて乗り越えて行きたいと思っています。宜しくお願い致します。
市民連 合 [3名]	(無記入)
(匿名)	正しい知識を得る事が一番重要です。子供は社会が守るべきなので、教育面から、また環境を整えるという問題を、第一優先に考えてあげたいです。
(匿名)	(無記入)